

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 4組

使用教科書：（現代高等保健体育改訂版（大修館））

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】

各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 健康の考え方</p> <p>【知識及び技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることを理解できるようにする。健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 健康に関する意思決定・行動選択 4. 健康に関する環境づくり</p> <p>・教材 教科書、授業プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わっていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
<p>B 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに伴った個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>5. 事故の現状と発生要因 6. 安全な社会の形成 7. 交通における安全</p> <p>・教材 教科書、授業プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。</p> <p>・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>G 応急手当</p> <p>【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・指導事項</p> <p>8. 応急手当の意義 9. 日常的な応急手当 10. 心肺蘇生法</p> <p>・教材</p>	<p>【知識・技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解</p>				

前期

<p>応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活気に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>教科書、授業プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>C 生活習慣病などの予防と回復</p> <p>【知識及び技能】 生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活気に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>・指導事項 11. 生活習慣病とその予防 12. がんの原因と予防 13. がんの治療と回復 14. 食事と健康 15. 運動と健康 16. 休養・睡眠と健康</p> <p>・教材 教科書、授業プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活気に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>・指導事項 17. 喫煙と健康 18. 飲酒と健康 19. 薬物乱用と健康</p> <p>・教材 教科書、授業プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8

後期	<p>E 精神疾患の予防と回復</p> <p>【知識及び技能】 精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活気に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>・指導事項 20. 精神疾患の特徴 21. 精神疾患の予防 22. 精神疾患からの回復</p> <p>・教材 教科書、授業プリント 一人1 台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>F 現代の感染症とその予防</p> <p>【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活気に満ちた明るく豊かなものにできるようにする。</p>	<p>・指導事項 23. 現代の感染症 24. 感染症の予防 25. 性感染症・エイズとその予防</p> <p>・教材 教科書、授業プリント 一人1 台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
						合計	
						35	